

平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月30日

上場会社名 株式会社 システムソフト

上場取引所 東

コード番号 7527 URL <http://www.systemsoft.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉尾 春樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 緒方 友一

TEL 092-732-1515

四半期報告書提出予定日 平成26年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	665	—	106	—	110	—	244	—
25年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	3.67	3.63
25年9月期第1四半期	—	—

(注) 平成25年9月期第1四半期の経営成績につきましては、四半期連結財務諸表を作成しているため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第1四半期	6,841	6,455	91.9	94.27
25年9月期	6,611	6,213	91.4	90.64

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 6,288百万円 25年9月期 6,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,432	30.2	199	27.5	191	27.1	168	5.1	2.53
通期	3,225	26.0	526	53.2	513	52.9	380	34.4	5.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ②①以外の会計方針の変更 : 無
- ③会計上の見積りの変更 : 無
- ④修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期1Q	66,733,760 株	25年9月期	66,733,760 株
26年9月期1Q	31,500 株	25年9月期	31,500 株
26年9月期1Q	66,702,260 株	25年9月期1Q	37,535,112 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

なお、当社は前第1四半期連結累計期間において四半期連結財務諸表を作成していましたが、連結子会社であった株式会社アップトゥーミーを平成25年10月1日付で吸収合併したことにより、当第1四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

当第1四半期累計期間（平成25年10月1日～平成25年12月31日）におけるわが国の経済は、政府主導による経済政策、日銀による金融緩和を受けて株高・円安が進行する中で、輸出関連企業を中心とした企業業績の改善や個人消費の持ち直しも見られるなど、緩やかな回復傾向で推移いたしました。

当社が属する情報サービス産業におきましては、金融関連を中心とした投資の拡大傾向に加え、その他の業界においても新規投資の動きが見られました。

このような環境下、当社は、更なる企業価値向上のため、これまでのシステム開発を中心とした事業分野に加え、前期におけるパワーテクノロジー株式会社の吸収合併により新たに開始したWebマーケティング事業の拡大に注力いたしました。その一環として、平成25年10月1日付で連結子会社 株式会社アップトゥーミーを吸収合併し、同社のモバイルマーケティング事業をWebマーケティング事業に統合し、両事業のより効率的な連携体制を構築いたしました。

システム開発事業におきましては、かねてより取り組んでおります開発手順の統一や、プログラミングの汎用的な部分のモジュール化等による開発期間の短縮・原価の低減などに、引き続き努めました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は665百万円、営業利益は106百万円、経常利益は110百万円となりました。また、株式会社アップトゥーミーの合併に伴う抱合せ株式消滅差益61百万円や投資有価証券売却益92百万円の計上等により、四半期純利益は244百万円となりました。

セグメント毎の業績は、次のとおりであります。

なお、システム開発事業及び賃貸不動産情報サイト運営事業につきましては、参考として前年同四半期の業績との比較を記載しております。

① システム開発事業

大手企業を中心としたお客さまに対し、長年にわたってソリューションプロダクト及びソリューションサービスを提供しております。

通信関連や不動産関連のシステム開発を中心として、案件は多数見えてきておりますが、お客様による仕様の確定に時間を要すること等により契約締結までには至らず、この分野の売上が前年同期に比して減少いたしました。しかしながら、金融関連を中心に新規案件の獲得が進み、原価低減の効果も表れたことから、事業全体での売上高は237百万円（前年同期比9百万円減）、営業利益は31百万円（前年同期比5百万円増）となりました。

② 賃貸不動産情報サイト運営事業

賃貸不動産情報サイト「APAMAN」につきましては、豊富な物件数の中から、利用者の求める条件を充たす物件情報を、迅速かつ適切に提供できる利便性の高いサイトとして評価いただけるよう、常時120万件以上の物件情報を掲載しております。当第1四半期累計期間における売上高は62百万円（前年同期比0百万円増）、営業利益は20百万円（前年同期比1百万円減）となっております。

③ Webマーケティング事業

前期におけるパワーテクノロジー株式会社との合併により、同社の事業を継承し、大手企業を中心としたWebマーケティングのコンサルティングを行っております。また、平成25年10月1日付で連結子会社 株式会社アップトゥーミーを吸収合併し、同社のモバイルマーケティング事業を当事業に統合いたしました。当第1四半期累計期間におきましては、顧客企業の慎重な投資姿勢が引き続き見られますが、事業統合による付加価値の高いサービスの提供により、受注獲得に努めてまいりました。当第1四半期累計期間における売上高は365百万円、営業利益は111百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ230百万円増加し、6,841百万円となりました。これは主に、合併により関係会社株式304百万円が減少した一方で、合併による受入や売上債権の回収により現金及び預金が574百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ11百万円減少し、385百万円となりました。これは主に、買掛金の減少26百万円等によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ242百万円増加し、6,455百万円となりました。これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加244百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日公表の「特別利益の発生に関するお知らせ」に記載しましたとおり、当第1四半期において、特別利益として抱合せ株式消滅差益及び投資有価証券売却益を計上いたしましたが、第2四半期以降において見込まれております事務所移転費用の発生など、今後の見通しにつきましては現在精査中であり、現時点の業績予想につきましては、平成25年11月7日の「平成25年9月期 決算短信」で公表いたしました予想から変更はありません。

なお、今後、業績予想の修正が必要と判断された場合には、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,307,416	1,882,229
売掛金	553,989	481,861
仕掛品	9,968	33,638
繰延税金資産	117,020	117,311
その他	73,038	80,443
流動資産合計	2,061,432	2,595,483
固定資産		
有形固定資産	59,539	55,958
無形固定資産		
のれん	3,053,818	3,076,633
その他	62,640	67,748
無形固定資産合計	3,116,458	3,144,381
投資その他の資産		
長期前払費用	874,510	848,010
その他	499,410	197,693
投資その他の資産合計	1,373,921	1,045,704
固定資産合計	4,549,919	4,246,044
資産合計	6,611,351	6,841,527
負債の部		
流動負債		
買掛金	83,714	57,034
未払法人税等	—	22,101
賞与引当金	35,790	18,436
資産除去債務	—	2,292
その他	105,190	112,590
流動負債合計	224,695	212,455
固定負債		
繰延税金負債	8,019	6,259
退職給付引当金	159,717	164,576
資産除去債務	4,494	2,219
その他	945	378
固定負債合計	173,176	173,432
負債合計	397,872	385,887

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,413,491	1,413,491
資本剰余金	4,169,693	4,169,693
利益剰余金	459,015	703,963
自己株式	△8,023	△8,023
株主資本合計	6,034,177	6,279,125
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,840	9,052
評価・換算差額等合計	11,840	9,052
新株予約権	167,461	167,461
純資産合計	6,213,479	6,455,639
負債純資産合計	6,611,351	6,841,527

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	665,235
売上原価	359,215
売上総利益	306,019
販売費及び一般管理費	199,400
営業利益	106,619
営業外収益	
受取利息	810
受取配当金	143
負ののれん償却額	567
その他	8,932
営業外収益合計	10,452
営業外費用	
支払手数料	3,630
その他	3,002
営業外費用合計	6,632
経常利益	110,439
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	61,592
投資有価証券売却益	92,511
特別利益合計	154,104
特別損失	
合併関連費用	367
特別損失合計	367
税引前四半期純利益	264,177
法人税、住民税及び事業税	19,279
法人税等調整額	△49
法人税等合計	19,229
四半期純利益	244,947

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当第1四半期累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム 開発事業	賃貸不動産情報 サイト運営事業	Webマーケ ティング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	237,361	62,500	365,374	665,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	237,361	62,500	365,374	665,235
セグメント利益	31,040	20,240	111,389	162,669

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成25年10月1日付で、連結子会社であった株式会社アップトゥーミーを吸収合併し、同社が行っていた「モバイルマーケティング事業」を当社の「Webマーケティング事業」に統合いたしました。

この結果、前連結会計年度までの4区分を、当第1四半期累計期間より「システム開発事業」「賃貸不動産情報サイト運営事業」及び「Webマーケティング事業」の3区分に変更しております。

なお、当第1四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成していないため、前第1四半期連結累計期間におけるセグメント情報については記載しておりません。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	162,669
のれんの償却額	△44,231
全社費用(注)	△11,818
四半期損益計算書の営業利益	106,619

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

平成25年10月1日付で連結子会社であった株式会社アップトゥーミーを吸収合併したことに伴い、連結上ののれんを個別財務諸表に引き継いでおります。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期累計期間においては67,046千円であります。